

2025（令和7）年度沖縄県若年性認知症支援推進事業 若年性認知症本人交流会・本人ミーティング「同士の会」 報告書

日時：2025年10月22日（水）12:00～16:00

場所：南部の商業施設内

参加者：合計10名 本人3名+ゲスト2名（65歳以上）、支援者2名、行政2名、
ゲスト家族1名（65歳以上）

○目的と概要

若年性認知症の本人同士が自らの体験や希望、必要としている事を語り合い、自分達のこれからのよりよい暮らし、暮らしやすい地域のあり方を一緒に話し合う場づくりを目指す。

○交流会

今回は、コーディネーターの支援を卒業したMYさんが初参加。A型就労継続支援通所しているMJさんと“就労”の話題に熱くなり、これまでの体験をお話しして頂く。国が行う「認知症 市町村の伴奏型支援のモデル事業」に今回参加している北谷町の行政職員の参加もあり、普段接する認知症高齢者とは違い、若年層の働く場の話題に興味津々で聞き入っていた。

二回目の参加のMSさん、ギターを弾くのが趣味だが、手首の治療で演奏できず「好きなことが出来ないという状況は苦痛」とお話しされ…ストレスフルな印象であった。

○まとめ

今回の交流会では、MYさん初参加であったが「希望大使の大城さんに会いたい」という思いで参加されていたが、大城さんが体調不良でお休みとなって実際は会えなかった。「大城さんにききたいことがあるから」と次回、会えることを楽しみにしていると話ししていた。



以上